

2021年度 人間環境学部 国際バカロレア利用自己推薦入試 小論文 問題用紙

(60分)

[問題1]、[問題2]のうち、どちらかを選択して解答しなさい。解答した問題は、解答用紙の問題選択欄に○で囲むこと。

[問題1] 次の文章を読み、以下の2つの問い(A/B)から1つ選び、解答してください。解答する際には解答した問題の記号を最初に記してください。

「歴史を通して繰り返しみられたように、まさに国家による森林保護こそが、地元住民を森林の敵にしまった」。これは、土壌、森林、水、気候などの自然環境を国家権力との関係で研究してきた環境史の大家、ヨアヒム・ラートカウの結論であった。

この主張には驚く人も多いだろう。というのも、気候変動に関する国際条約の批准にせよ、炭素税の導入や再生可能エネルギーへの補助金にせよ、環境保護に関心をもつ私たちの多くは、問題による関与の過剰ではなく、むしろ不足にあると思ってきたからだ。資源利用や環境保全に国がもっと関与し、人員と予算を割くべきだと考える人は多いと思う。だが少し立ち止まってラートカウの洞察を噛みしめると、私たちは、国家が自然環境に投げ込む政策が現地社会にどのような波紋を引き起こしてきたのかをしっかりと見届けてこなかったことに気づく。差し迫った環境問題への対処も大事だが、「問題」を特定の方向で生み出す社会のあり方、そして「解決」が促す人間社会の変化の方が深刻なのかもしれない。なぜなら、その人間社会こそがまさに「何を解決すべき問題か」を決めているのであり、解釈の結果を受け取るのもまだ人間社会であるからだ。

自然環境を保全するために実施されたはずの政策が、その政策を仲介する地域の人々を翻弄し、その結果として地域の自然環境が持続性を失ってしまう現象を、ここでは「反転」と呼ぶことにする。そして、その反転の影響が当該国の人々に均等にふりかかるわけではない点は特に注意が必要だ。環境保護事業を受け取る現場の地域住民、たとえば厳格な保護対象になる森林のそばに暮らす人々、汚染への規制がかかる工場に働く人々、気候変動への適応策が実施される災害リスク地域に暮らす人々などは、反転に最も巻き込まれやすい人々である。そして、国家による環境政策が、自然環境の管理に先立って、そうとはわからないかたちで人間社会の管理に転化していく可能性がある。こうした転化は、格差や不平等を拡大し、地域の人々の環境保全意欲を低下させ、さらなる環境劣化の引き金になりうる。

「環境対人間」という対立構造は、気候変動や砂漠化などの文脈で、私たちになじみのある問題の立て方である。しかし、この問題設定に基づいて人間社会が環境に作用した結果が、その反作用として呼び込む新たな「人間対人間」の関係(=意図せざる反転)について、私たちはあまり無頓着ではなかったか。

(出典：佐藤仁『反転する環境国家』(名古屋大学出版会、2019年)の一部を改変した。)

問題 A SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは何かという点を説明し、下線部の内容を踏まえた「SDGs が持つ問題性」について、できるだけ具体的な事例を用いて論述せよ。

問題 B 下線部で記されているような「意図せざる反転」について、本文とは異なる事例を紹介した上で、自分の考えを述べなさい。

2021年度 人間環境学部 国際バカロレア利用自己推薦入試
小論文 問題用紙

(60分)

[問題1]、[問題2]のうち、どちらかを選択して解答しなさい。解答した問題は、解答用紙の問題選択欄に○で囲むこと。

[問題2]

以下の新聞記事を読み、2つの問いに答えなさい。

1. 人権や多様性に関する問題がSDGs (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) の中にどのように位置付けられるか説明せよ。
2. 日本の学校教育の中で人権教育を行うことの意義について、具体的な事例を用いながら自分の考えを述べなさい。

著作権者の許諾を得ていないため問題文は掲載いたしません。
なお、出典情報は以下のとおりです。

[出典情報]

- ・朝日新聞2020年10月20日付朝刊
- ・「BLM」教室で話そう 少数者差別・偏見「米だけでない」黒人差別への抗議運動

2021年度 キャリアデザイン学部

キャリア体験特別入試（社会人）・国際バカロレア利用自己推薦特別入試

小論文 問題

氏名					
受験番号					

次の文章を読み、後の質問に答えなさい。

著作権者の許諾を得ていないため、問題文は掲載いたしません。
なお、出典情報は以下のとおりです。

[出典情報]

- ・日本経済新聞2020年3月30日
- ・コロナ後の世界に警告（ユヴァル・ノア・ハラリ氏寄稿）

問1 下線部(1)「中央集権的な監視と厳しい処罰が市民に有益な指針を守らせる唯一的手段ではない」について、筆者は「中央集権的な監視と厳しい処罰」にならない方法とはどのようなものだと考えているか。100字以内でまとめなさい。

問2 下線部(2)「市民のあり方」について、著者の考えに対する自分の考えを400字以内で述べなさい。